

# 第24回「秋田県内企業の景気動向調査」結果

(平成29年5月調査)

～ 景況感は3期ぶりに悪化。当面は足踏みが続く見通し ～

## 【 調査の要旨 】

- **県内企業の業況**は、▲6.6(前回調査比 1.1 ポイント下落)と3期ぶりに悪化した。「各種D I 値(前年同期比)」は、「売上高」と「営業利益」がともに3期連続で改善、「資金繰り」が2期ぶりに改善と3項目で改善した一方、「人員人手」は小幅ながら2期連続で悪化した。
- **業種別**に「自社の業況D I 値(前年同期比)」をみると、製造業では改善した一方、卸・小売業とサービス業は悪化した。また、建設業は1.0(前回調査比±0.0)と横ばいとなり、2期連続で「良い」超を維持した。
- **地域別**に「自社の業況D I 値(前年同期比)」をみると、県北が▲14.9(前回調査比 0.8 ポイント上昇)、県南が▲17.5(同 1.4 ポイント上昇)とともに依然「悪い」超ながら幾分改善した一方、中央は1.8(同 3.4 ポイント下落)と引き続き「良い」超ながら悪化となった。
- **先行き見通し**は、「自社の業況D I 値(前年同期比)」が▲11.7(今回調査比 5.1 ポイント下落)と悪化が見込まれている。

## 【 特別調査 】

- **夏季ボーナスの支給動向**について尋ねたところ、回答企業(393社)の59.8%が「支給する」と回答しており、この割合は、前回調査(57.0%)から2.8ポイント上昇した。また、夏季ボーナスの支給予定額について尋ねたところ、全業種平均(188社)で26.7万円となり、前回調査に比べて1.2万円(4.4%)減少の見込みとなった。
- **春季以降の賃金改定動向**について尋ねたところ、全業種では「ペア・定期昇給とも実施」する(した)企業は15.0%で、これに「ペアのみ実施」(7.1%)と「定期昇給のみ実施」(25.7%)を加えた、「賃上げを実施する(した)」と回答した企業は47.8%となり、前回調査(42.4%)から5.4ポイント上昇した。

平成29年5月

株式会社フィデア総合研究所

## 目次

I. 県内企業の業況.....	1
1. 概況.....	1
2. 業種別の動向.....	2
(1)業種別の概況.....	2
(2)業種別DI値の動向.....	3
① 建設業.....	3
② 製造業.....	4
③ 卸・小売業.....	5
④ サービス業.....	6
3. 地域別の動向.....	7
(1)地域別の概況.....	7
(2)地域別DI値の動向.....	8
① 県北.....	8
② 中央.....	9
③ 県南.....	10
II. 景気の天気予報図.....	11
III. 特別調査.....	12
1. 夏季ボーナスの支給動向について.....	12
(1)支給予定動向.....	12
(2)支給予定額について.....	14
2. 春季以降の賃金改定動向について.....	16
<参考資料Ⅰ：業種別・地域別回答率>.....	17
<参考資料Ⅱ：調査の概要>.....	17

# Ⅰ. 県内企業の業況

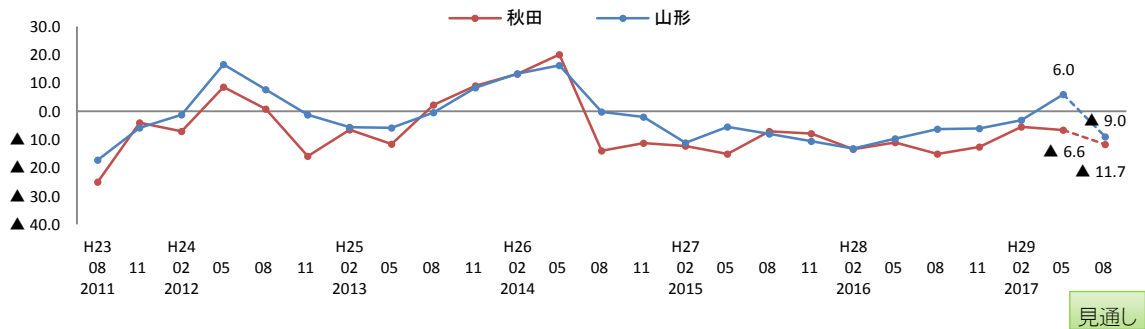
## 1. 概況

～ 景況感は3期ぶりに悪化。当面は足踏みが続く見通し ～

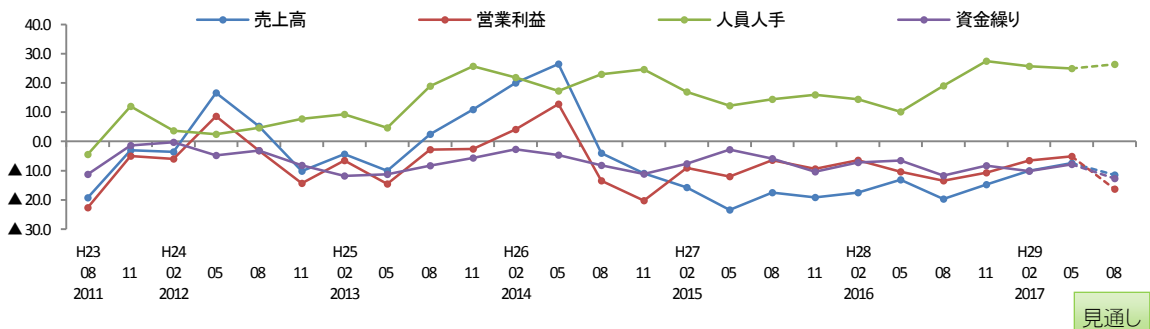
県内企業の業況は、自社の業況判断を示す「自社の業況DI値(前年同期比)」が▲6.6(前回調査比 1.1ポイント下落)と3期ぶりに悪化した。「各種DI値(前年同期比)」は、「売上高」と「営業利益」がともに3期連続で改善、「資金繰り」が2期ぶりに改善と3項目で改善した一方、「人員人手」は小幅ながら2期連続で悪化した。

先行き見通しは、「自社の業況DI値(前年同期比)」が▲11.7(今回調査比 5.1ポイント下落)と悪化が見込まれている。総じて業況の先行き不透明感は強く、当面は足踏みが続く見通しとなっている。

図表 1 全業種「自社業況DI値(前年同期比)」の推移



図表 2 全業種「各種DI値(前年同期比)」の推移



前年同期比の自社業況DI値

全業種 調査時 (サンプル数)	自社業況 (前年同期比)			売上高	営業利益	人員人手	資金繰り
	前回調査比	前回調査予測					
H 28.05 (n=442)	▲ 11.0	2.4	▲ 28.3	▲ 13.1	▲ 10.4	10.1	▲ 6.5
H 28.08 (n=411)	▲ 15.1	▲ 4.1	▲ 17.9	▲ 19.7	▲ 13.4	19.0	▲ 11.7
H 28.11 (n=414)	▲ 12.6	2.5	▲ 15.5	▲ 14.8	▲ 10.7	27.5	▲ 8.3
H 29.02 (n=401)	▲ 5.5	7.1	▲ 14.0	▲ 10.0	▲ 6.5	25.7	▲ 10.2
H 29.05 (n=393)	▲ 6.6	(▲ 1.1)	▲ 21.2	▲ 7.4	▲ 5.1	25.0	▲ 7.9
前回調査比	-	-	-	(2.6)	(1.4)	(▲ 0.7)	(2.3)
先行き見通し	▲ 11.7	-	-	▲ 11.5	▲ 16.3	26.4	▲ 12.7
今回調査比	(▲ 5.1)	-	-	(▲ 4.1)	(▲ 11.2)	(1.4)	(▲ 4.8)

※ 「売上高」DI値は、建設業の「完成工事高」を含んだ値。

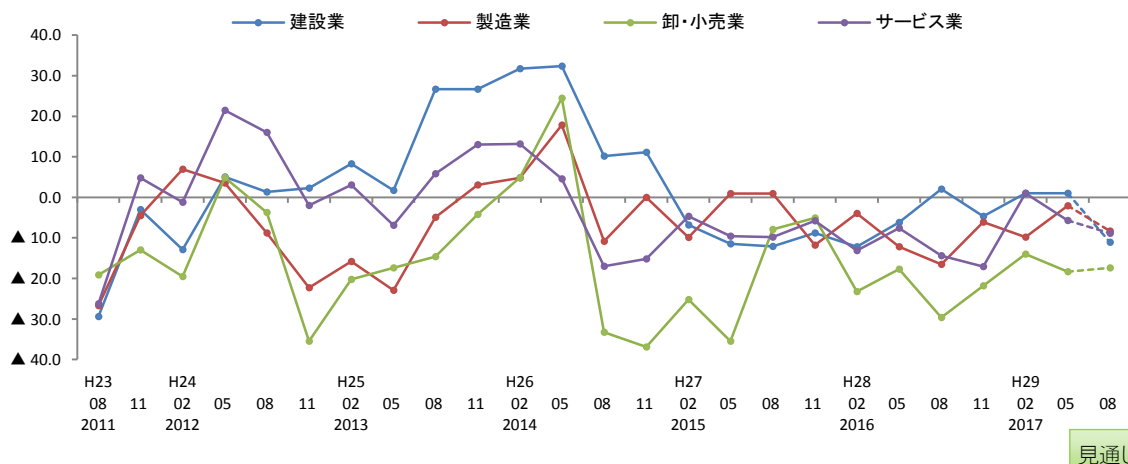
## 2. 業種別の動向

### (1) 業種別の概況

業種別に「自社の業況DI値(前年同期比)」をみると、製造業では改善した一方、卸・小売業とサービス業は悪化した。また、建設業は1.0(前回調査比±0.0)と横ばいとなり、2期連続で「良い」超を維持した。

業況の先行き見通しは、卸・小売では小幅な改善、その他の3業種では悪化が見込まれている。

図表3 業種別「自社業況DI値(前年同期比)」の推移



前年同期比の自社業況DI値

業種別 調査時(サンプル数)	自社業況(前年同期比)				
	全業種	建設	製造	卸・小売	サービス
H 28.05 (n=442)	▲ 11.0	▲ 6.2	▲ 12.2	▲ 17.7	▲ 7.6
H 28.08 (n=411)	▲ 15.1	2.0	▲ 16.5	▲ 29.6	▲ 14.4
H 28.11 (n=414)	▲ 12.6	▲ 4.7	▲ 6.1	▲ 21.8	▲ 17.1
H 29.02 (n=401)	▲ 5.5	1.0	▲ 9.8	▲ 14.0	1.0
<b>H 29.05 (n=393)</b>	<b>▲ 6.6</b>	<b>1.0</b>	<b>▲ 2.1</b>	<b>▲ 18.3</b>	<b>▲ 5.7</b>
前回調査比	(▲ 1.1)	(0.0)	(7.7)	(▲ 4.3)	(▲ 6.7)
<b>先行き見通し</b>	<b>▲ 11.7</b>	<b>▲ 11.1</b>	<b>▲ 8.3</b>	<b>▲ 17.4</b>	<b>▲ 8.9</b>
今回調査比	(▲ 5.1)	(▲ 12.1)	(▲ 6.2)	(0.9)	(▲ 3.2)

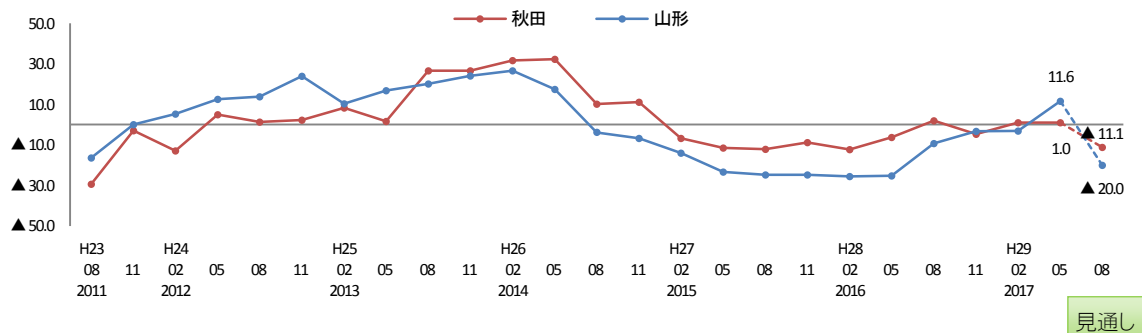
## (2)業種別DI値の動向

### ① 建設業

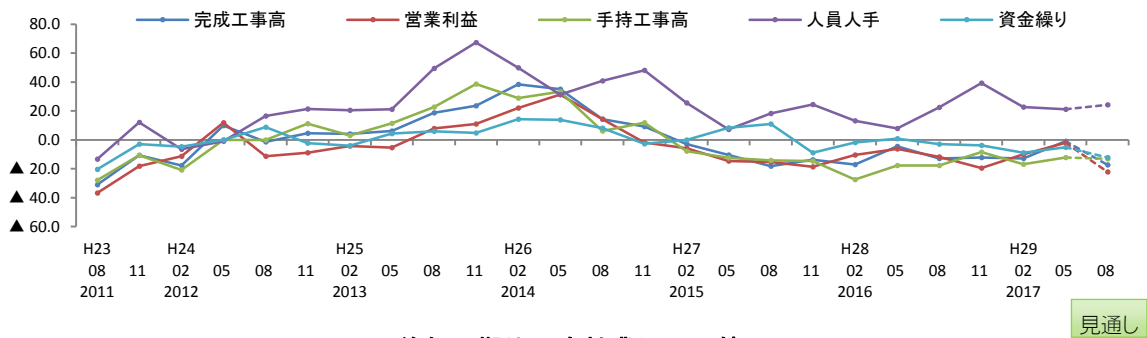
「自社の業況DI値(前年同期比)」は1.0(前回調査比±0.0ポイント)と横ばいとなり、「良い」超を維持した。「各種DI値(前年同期比)」をみると、「人員人手」が小幅ながら悪化した一方、他の4項目はすべて改善した。中でも「完成工事高」は▲11.0(同11.9ポイント上昇)と大幅に改善し、マイナス幅を縮小した。足元は、一般住宅が堅調な水準を維持しており、公共工事は増加傾向で推移している。

先行き見通しは、「自社の業況DI値(前年同期比)」が▲11.1(今回調査比12.1ポイント下落)と悪化が見込まれている。

図表4 建設業「自社業況DI値(前年同期比)」の推移



図表5 建設業「各種DI値(前年同期比)」の推移



前年同期比の自社業況DI値

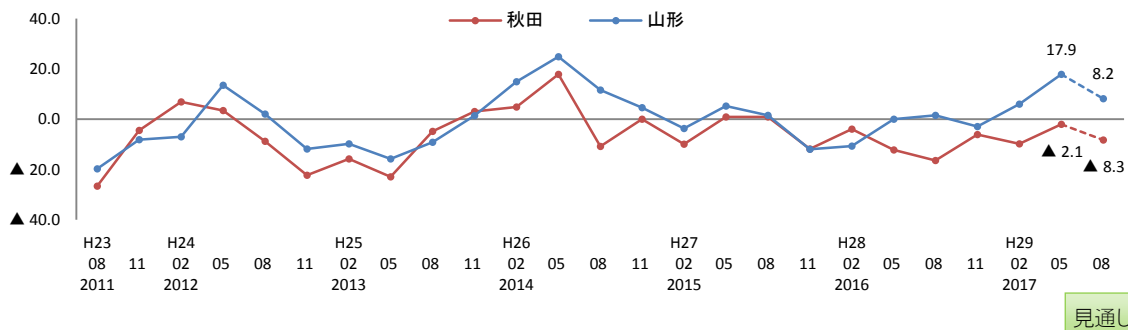
建設業 調査時(サンプル数)	自社業況(前年同期比)			完成 工事高	営業 利益	手持 工事高	人員 人手	資金 繰り
	前回調査比	前回調査予測						
H28.05 (n=113)	▲6.2	6.0	▲28.3	▲4.5	▲6.2	▲17.7	7.9	0.9
H28.08 (n=102)	2.0	8.2	▲29.2	▲12.8	▲11.8	▲17.7	22.6	▲3.0
H28.11 (n=107)	▲4.7	▲6.7	▲13.8	▲12.1	▲19.6	▲8.4	39.3	▲3.8
H29.02 (n=101)	1.0	5.7	▲14.0	▲12.9	▲9.9	▲16.8	22.8	▲8.9
<b>H29.05 (n=99)</b>	<b>1.0</b>	<b>(0.0)</b>	<b>▲24.7</b>	<b>▲1.0</b>	<b>▲2.0</b>	<b>▲12.1</b>	<b>21.2</b>	<b>▲5.1</b>
前回調査比	-	-	-	(11.9)	(7.9)	(4.7)	(▲1.6)	(3.8)
<b>先行き見通し</b>	<b>▲11.1</b>	-	-	<b>▲17.2</b>	<b>▲22.2</b>	<b>▲13.1</b>	<b>24.3</b>	<b>▲12.1</b>
今回調査比	(▲12.1)	-	-	(▲16.2)	(▲20.2)	(▲1.0)	(3.1)	(▲7.0)

## ② 製造業

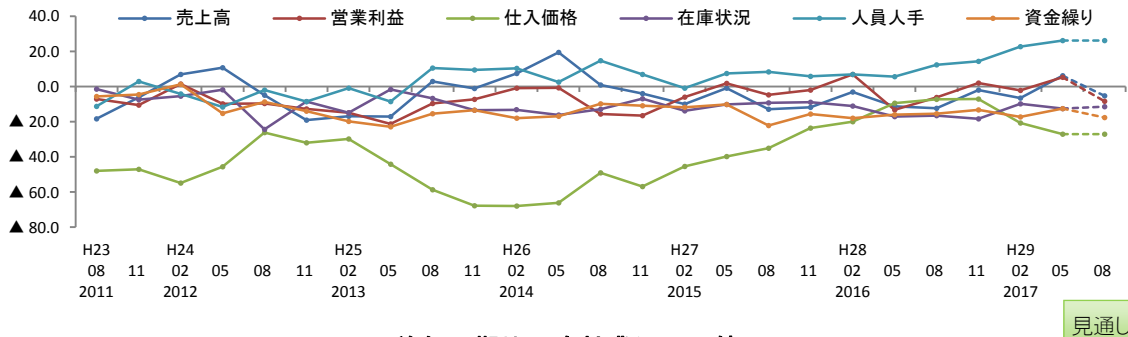
「自社の業況D I 値(前年同期比)」は▲2.1(前回調査比 7.7 ポイント上昇)と2期ぶりに改善した。各種D I 値(前年同期比)でみると、「仕入価格」と「在庫状況」が悪化した一方、他の4項目はいずれも改善した。特に「売上高」は6.2(同 12.7 ポイント上昇)と大きく改善し、平成 26 年 8 月調査以来 11 期ぶりに「良い」超となった。各社のコメントをみると、総じて原材料費の上昇や需要の減少を懸念する声が聞かれたものの、電気機械関連など一部の製造業では回復感がうかがえた。

業況の先行き見通しは、「自社の業況D I 値(前年同期比)」が▲8.3(今回調査比 6.2 ポイント下落)と悪化が見込まれている。

図表 6 製造業「自社業況D I 値(前年同期比)」の推移



図表 7 製造業「各種D I 値(前年同期比)」の推移



前年同期比の自社業況D I 値

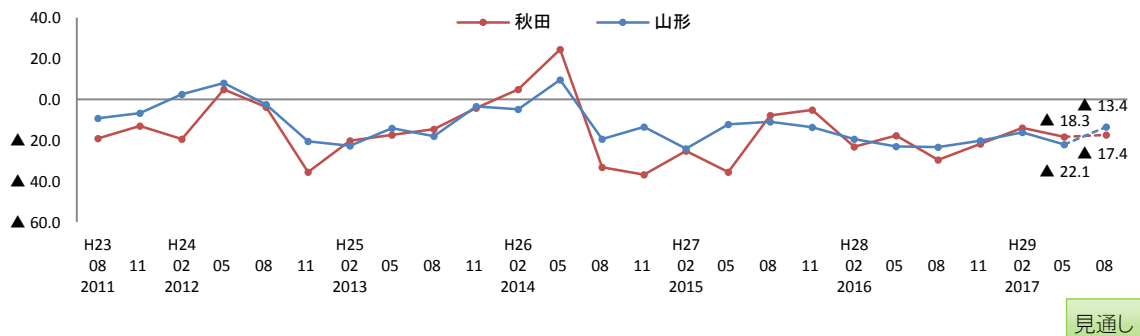
製造業 調査時(サンプル数)	自社業況(前年同期比)			売上高	営業利益	仕入価格	在庫状況	人員人手	資金繰り
	前回調査比	前回調査予測							
H28.05(n=106)	▲12.2	▲8.2	▲27.0	▲11.3	▲13.2	▲9.4	▲17.0	5.6	▲16.0
H28.08(n=97)	▲16.5	▲4.3	▲12.3	▲12.4	▲6.2	▲7.2	▲16.5	12.3	▲15.5
H28.11(n=98)	▲6.1	10.4	▲17.6	▲2.0	2.1	▲7.1	▲18.4	14.3	▲13.2
H29.02(n=92)	▲9.8	▲3.7	▲23.5	▲6.5	▲2.2	▲20.7	▲9.8	22.8	▲17.3
H29.05(n=96)	▲2.1	(7.7)	▲20.7	6.2	5.2	▲27.1	▲12.5	26.1	▲12.5
前回調査比	-	-	-	(12.7)	(7.4)	(▲6.4)	(▲2.7)	(3.3)	(4.8)
先行き見通し	▲8.3	-	-	▲5.2	▲8.4	▲27.1	▲11.5	26.1	▲17.7
今回調査比	(▲6.2)	-	-	(▲11.4)	(▲13.6)	(0.0)	(1.0)	(0.0)	(▲5.2)

### ③ 卸・小売業

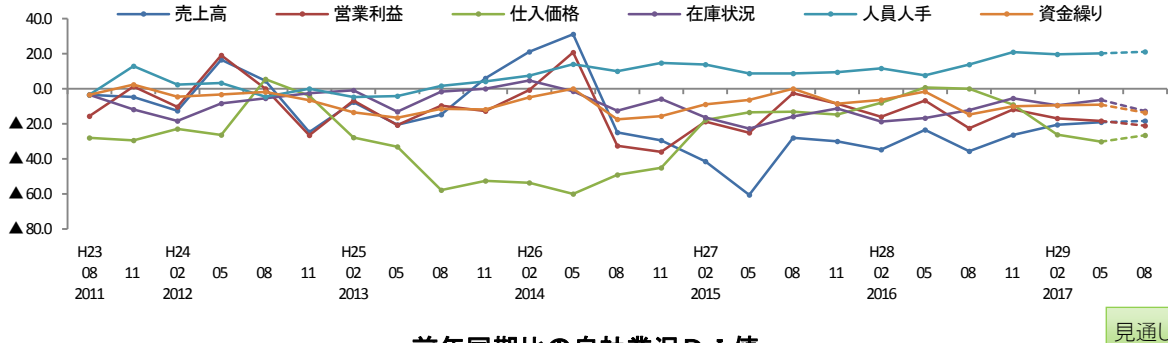
「自社の業況D I 値(前年同期比)」は▲18.3(前回調査比 4.3 ポイント下落)と3期ぶりに悪化した。「各種D I 値(前年同期比)」でみると、「売上高」、「在庫状況」、「人員人手」、「資金繰り」が改善した一方、「営業利益」と「仕入価格」は悪化した。「売上高」は依然「悪い」超ながら緩やかな改善基調で推移しているものの、原油価格の上昇や円安などに伴う仕入価格上昇の影響を受け、「営業利益」は悪化となった。

業況の先行き見通しは、「自社の業況D I 値(前年同期比)」が▲17.4(今回調査比 0.9 ポイント上昇)と小幅ながら改善が見込まれている。

図表 8 卸・小売業「自社業況D I 値(前年同期比)」の推移



図表 9 卸・小売業「各種D I 値(前年同期比)」の推移



前年同期比の自社業況D I 値

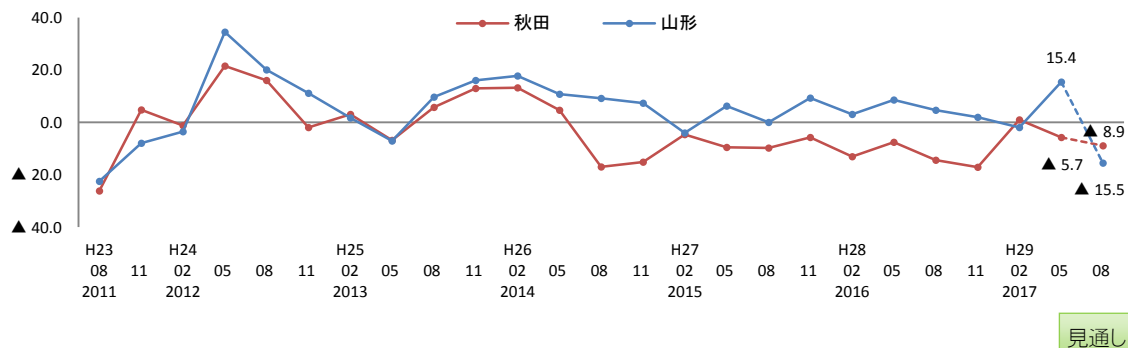
卸・小売業 調査時(サンプル数)	自社業況(前年同期比)		売上高	営業利益	仕入価格	在庫状況	人員人手	資金繰り	
	前回調査比	前回調査予測							
H28.05 (n=119)	▲17.7	5.5	▲32.1	▲23.5	▲6.7	0.8	▲16.8	7.6	▲1.7
H28.08 (n=115)	▲29.6	▲11.9	▲21.0	▲35.7	▲22.6	0.0	▲12.2	13.9	▲14.8
H28.11 (n=110)	▲21.8	7.8	▲17.4	▲26.4	▲11.8	▲9.1	▲5.5	20.9	▲10.0
H29.02 (n=107)	▲14.0	7.8	▲9.1	▲20.6	▲16.9	▲26.2	▲9.4	19.6	▲9.4
H29.05 (n=109)	▲18.3	(▲4.3)	▲25.2	▲19.2	▲18.3	▲30.3	▲6.4	20.2	▲9.1
前回調査比	-	-	-	(1.4)	(▲1.4)	(▲4.1)	(3.0)	(0.6)	(0.3)
先行き見通し	▲17.4	-	-	▲18.3	▲21.1	▲26.6	▲12.8	21.1	▲13.7
今回調査比	(0.9)	-	-	(0.9)	(▲2.8)	(3.7)	(▲6.4)	(0.9)	(▲4.6)

### ④ サービス業

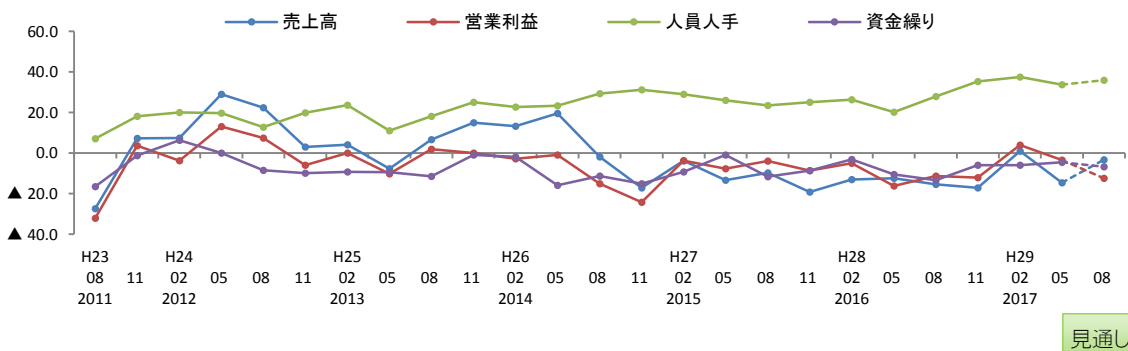
「自社の業況D I 値(前年同期比)」は▲5.7(前回調査比 6.7ポイント下落)と2期ぶりに悪化し、再び「悪い」超となった。「各種D I 値(前年同期比)」でみると、「資金繰り」が改善した一方、他の3項目は悪化した。中でも「売上高」は▲14.6(同 15.6ポイント悪化)と大幅な悪化となった。各社のコメントをみると、運輸関連を中心に燃料費の上昇や人手不足などにより総じて低調な動きとなったものの、不動産関係など一部のサービス業では改善傾向がうかがえた。

業況の先行き見通しは、「自社の業況D I 値(前年同期比)」が▲8.9(今回調査比 3.2ポイント下落)と悪化が見込まれている。

図表 10 サービス業「自社業況D I 値(前年同期比)」の推移



図表 11 サービス業「各種D I 値(前年同期比)」の推移



前年同期比の自社業況D I 値

サービス業 調査時(サンプル数)	自社業況(前年同期比)			売上高	営業利益	人員 人手	資金 繰り
	前回調査比	前回調査予測					
H28.05(n=104)	▲7.6	5.5	▲25.2	▲12.5	▲16.3	20.2	▲10.6
H28.08(n=97)	▲14.4	▲6.8	▲7.7	▲15.5	▲11.4	27.9	▲13.4
H28.11(n=99)	▲17.1	▲2.7	▲13.4	▲17.2	▲12.2	35.4	▲6.0
H29.02(n=101)	1.0	18.1	▲10.1	1.0	4.0	37.6	▲6.0
H29.05(n=89)	▲5.7	(▲6.7)	▲13.9	▲14.6	▲3.4	33.7	▲4.5
前回調査比	-	-	-	(▲15.6)	(▲7.4)	(▲3.9)	(1.5)
先行き見通し	▲8.9	-	-	▲3.3	▲12.4	36.0	▲6.8
今回調査比	(▲3.2)	-	-	(11.3)	(▲9.0)	(2.3)	(▲2.3)



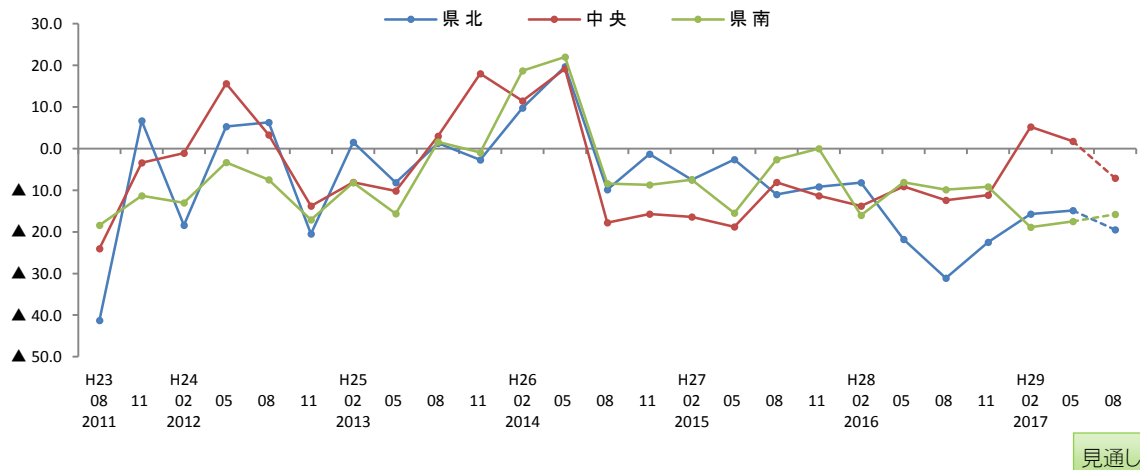
### 3. 地域別の動向

#### (1) 地域別の概況

地域別に「自社の業況DI値(前年同期比)」をみると、県北が▲14.9(前回調査比0.8ポイント上昇)、県南が▲17.5(同1.4ポイント上昇)とともに依然「悪い」超ながら幾分改善した一方、中央は1.8(同3.4ポイント下落)と引き続き「良い」超ながら悪化となった。

業況の先行き見通しは、「自社の業況DI値(前年同期比)」をみると、県南では小幅な改善、県北と中央では悪化が見込まれている。

図表 12 地域別「自社業況DI値(前年同期比)」の推移



前年同期比の自社業況DI値

地域別 調査時(サンプル数)	自社業況(前年同期比)			
	全地域	県北	中央	県南
H 28.05 (n=442)	▲11.0	▲21.8	▲9.1	▲8.1
H 28.08 (n=411)	▲15.1	▲31.1	▲12.4	▲9.9
H 28.11 (n=414)	▲12.6	▲22.5	▲11.2	▲9.2
H 29.02 (n=401)	▲5.5	▲15.7	5.2	▲18.9
<b>H 29.05 (n=393)</b>	<b>▲6.6</b>	<b>▲14.9</b>	<b>1.8</b>	<b>▲17.5</b>
前回調査比	(▲1.1)	(0.8)	(▲3.4)	(1.4)
<b>先行き見通し</b>	<b>▲11.7</b>	<b>▲19.5</b>	<b>▲7.1</b>	<b>▲15.8</b>
今回調査比	(▲5.1)	(▲4.6)	(▲8.9)	(1.7)

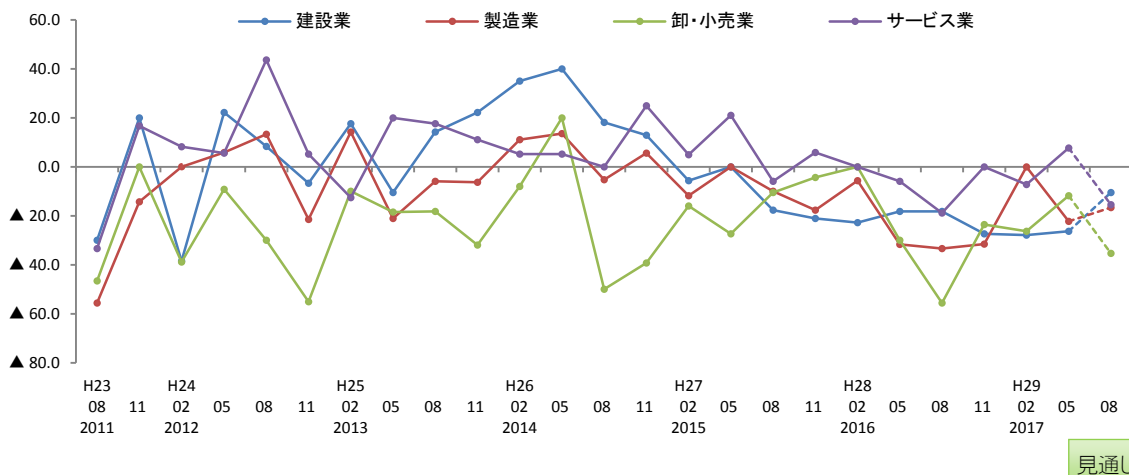
## (2) 地域別DI値の動向

### ① 県北

「自社の業況DI値(前年同期比)」は▲14.9(前回調査比0.8ポイント上昇)と小幅ながら3期連続で改善した。業種別では、製造業が▲22.2(同22.2ポイント下落)と大幅な悪化となった一方、他の3業種は改善し、特に卸・小売業とサービス業では10.0ポイント超の大幅な改善となった。

業況の先行き見通しは、「自社の業況DI値(前年同期比)」が▲19.5(今回調査比4.6ポイント下落)と悪化が見込まれている。業種別では、建設業と製造業で改善が見込まれている一方、卸・小売業とサービス業では大幅な悪化の見通しとなっている。

図表 13 県北業種別「自社業況DI値(前年同期比)」の推移



前年同期比の自社業況DI値

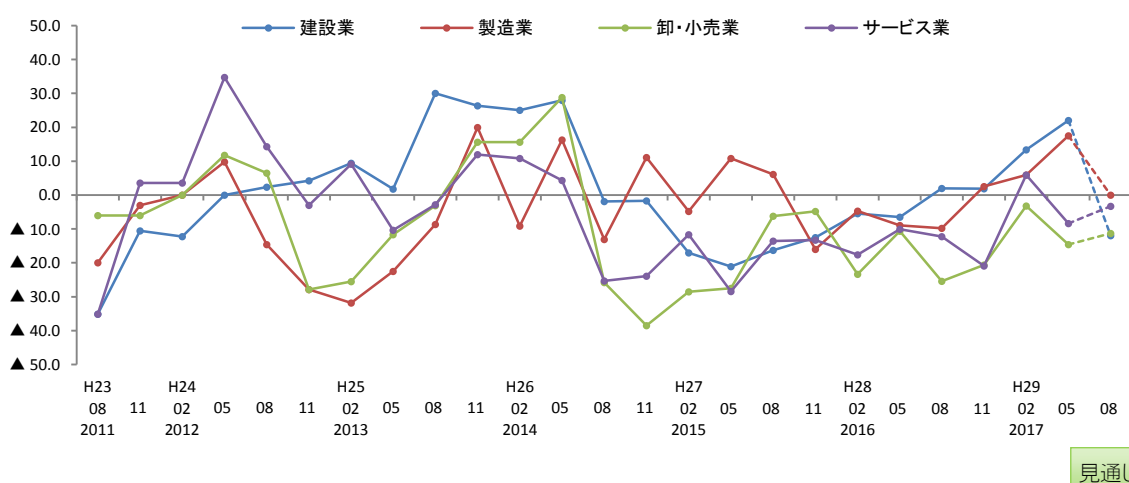
県北 調査時(サンプル数)	自社業況(前年同期比)				
	建設	製造	卸・小売	サービス	
H 28.05 (n=78)	▲21.8	▲18.2	▲31.6	▲30.0	▲5.9
H 28.08 (n=74)	▲31.1	▲18.2	▲33.3	▲55.6	▲18.8
H 28.11 (n=71)	▲22.5	▲27.3	▲31.5	▲23.6	0.0
H 29.02 (n=70)	▲15.7	▲27.8	0.0	▲26.3	▲7.2
H 29.05 (n=67)	▲14.9	▲26.3	▲22.2	▲11.8	7.7
前回調査比	(0.8)	(1.5)	(▲22.2)	(14.5)	(14.9)
先行き見通し	▲19.5	▲10.5	▲16.6	▲35.3	▲15.4
今回調査比	(▲4.6)	(15.8)	(5.6)	(▲23.5)	(▲23.1)

## ② 中央

「自社の業況D I 値(前年同期比)」は 1.8(前回調査比 3.4 ポイント下落)と 3 期ぶりに悪化したものの、引き続き「良い」超となった。業種別では、建設業と製造業はいずれも改善し「良い」超幅を拡大した一方、卸・小売業とサービス業ではともに 10.0 ポイント超の大幅な悪化となった。

業況の先行き見通しは、「自社の業況D I 値(前年同期比)」が▲7.1(今回調査比 8.9 ポイント下落)と悪化が見込まれている。業種別でみると、建設業と製造業では悪化、卸・小売業とサービス業では改善の見通しとなっている。

図表 14 中央業種別「自社業況D I 値(前年同期比)」の推移



前年同期比の自社業況D I 値

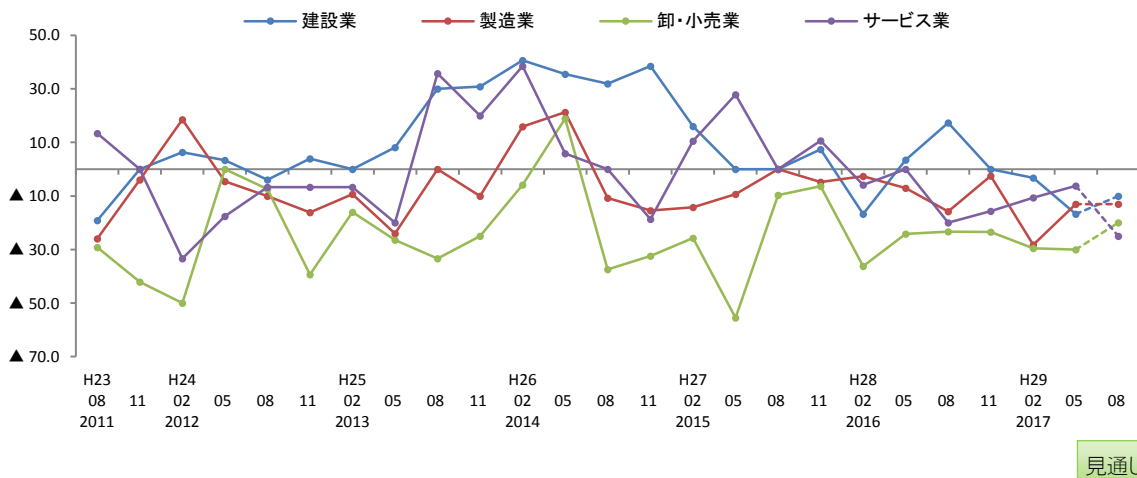
中央 調査時(サンプル数)	自社業況(前年同期比)				
	建設	製造	卸・小売	サービス	
H 28.05 (n=241)	▲9.1	▲6.5	▲8.9	▲10.6	▲10.1
H 28.08 (n=225)	▲12.4	2.0	▲9.8	▲25.4	▲12.2
H 28.11 (n=223)	▲11.2	1.9	2.5	▲20.6	▲20.9
H 29.02 (n=215)	5.2	13.4	5.9	▲3.2	5.9
<b>H 29.05 (n=212)</b>	<b>1.8</b>	<b>22.0</b>	<b>17.5</b>	<b>▲14.6</b>	<b>▲8.4</b>
前回調査比	(▲3.4)	(8.6)	(11.6)	(▲11.4)	(▲14.3)
<b>先行き見通し</b>	<b>▲7.1</b>	<b>▲12.0</b>	<b>0.0</b>	<b>▲11.3</b>	<b>▲3.3</b>
今回調査比	(▲8.9)	(▲34.0)	(▲17.5)	(3.3)	(5.1)

### ③ 県南

「自社の業況DI値(前年同期比)」は▲17.5(前回調査比 1.4 ポイント改善)と2期ぶりに改善した。業種別にみると、建設業と卸・小売業が悪化した一方、製造業とサービス業は改善し、特に製造業では15.1ポイントと大幅な改善となった。

業況の先行き見通しは、「自社の業況DI値(前年同期比)」が▲15.8(今回調査比 1.7ポイント上昇)と改善が見込まれている。業種別では、建設業と卸・小売業で改善が見込まれている一方、サービス業では悪化、製造業では横ばいの見通しとなっている。

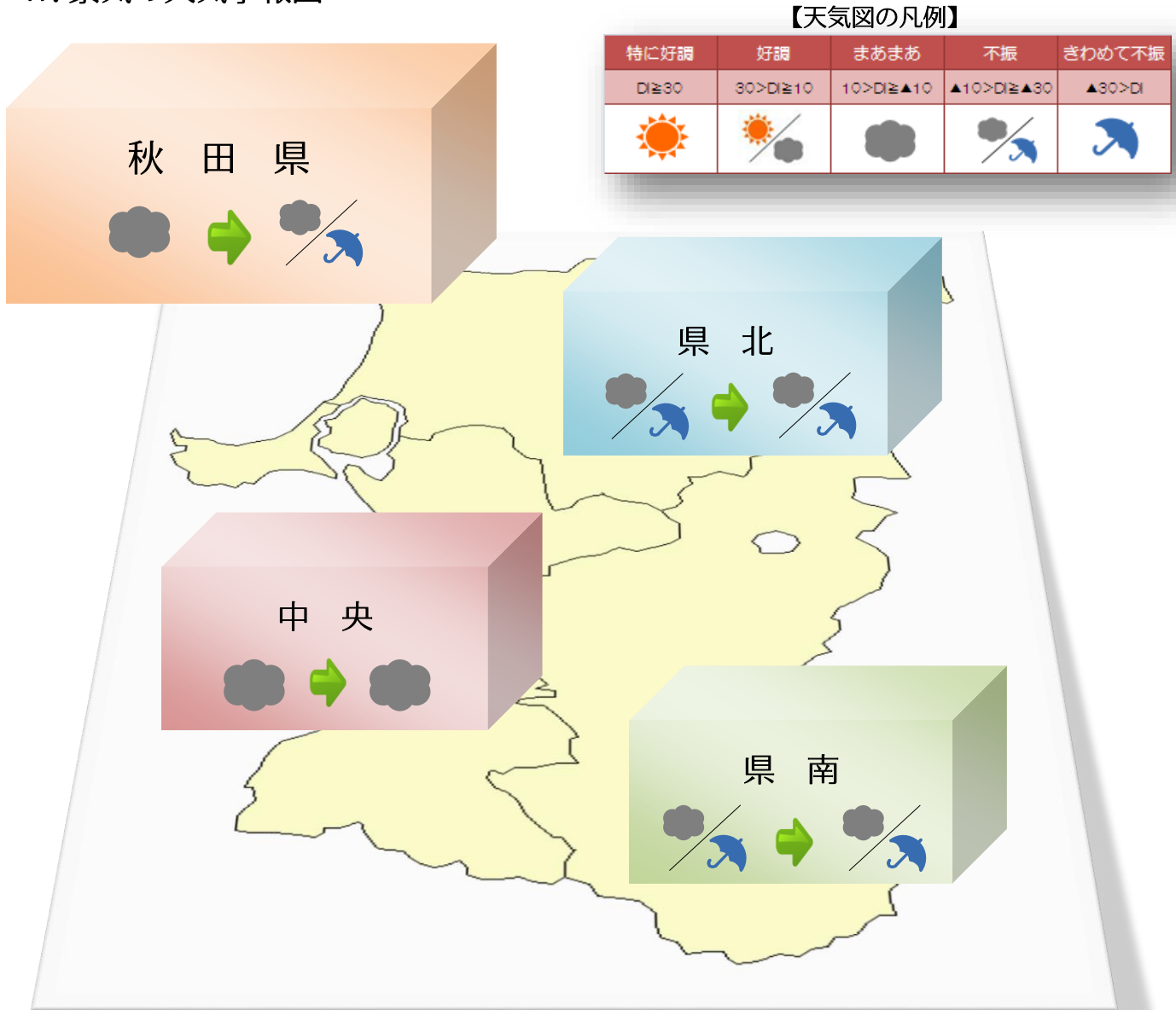
図表 15 県南業種別「自社業況DI値(前年同期比)」の推移



#### 前年同期比の自社業況DI値

県南 調査時(サンプル数)	自社業況(前年同期比)				
	建設	製造	卸・小売	サービス	
H 28.05 (n=123)	▲8.1	3.4	▲7.1	▲24.2	0.0
H 28.08 (n=112)	▲9.9	17.3	▲15.8	▲23.3	▲20.0
H 28.11 (n=120)	▲9.2	0.0	▲2.5	▲23.4	▲15.7
H 29.02 (n=116)	▲18.9	▲3.2	▲28.2	▲29.6	▲10.6
H 29.05 (n=114)	▲17.5	▲16.7	▲13.1	▲30.0	▲6.2
前回調査比	(1.4)	(▲13.5)	(15.1)	(▲0.4)	(4.4)
先行き見通し	▲15.8	▲10.0	▲13.1	▲20.0	▲25.0
今回調査比	(1.7)	(6.7)	(0.0)	(10.0)	(▲18.8)

II. 景気の天気予報図



今期の概況

来期の見通し

	秋田県	県北	中央	県南
全業種				
建設				
製造				
卸・小売				
サービス				



	秋田県	県北	中央	県南
全業種				
建設				
製造				
卸・小売				
サービス				

### III. 特別調査

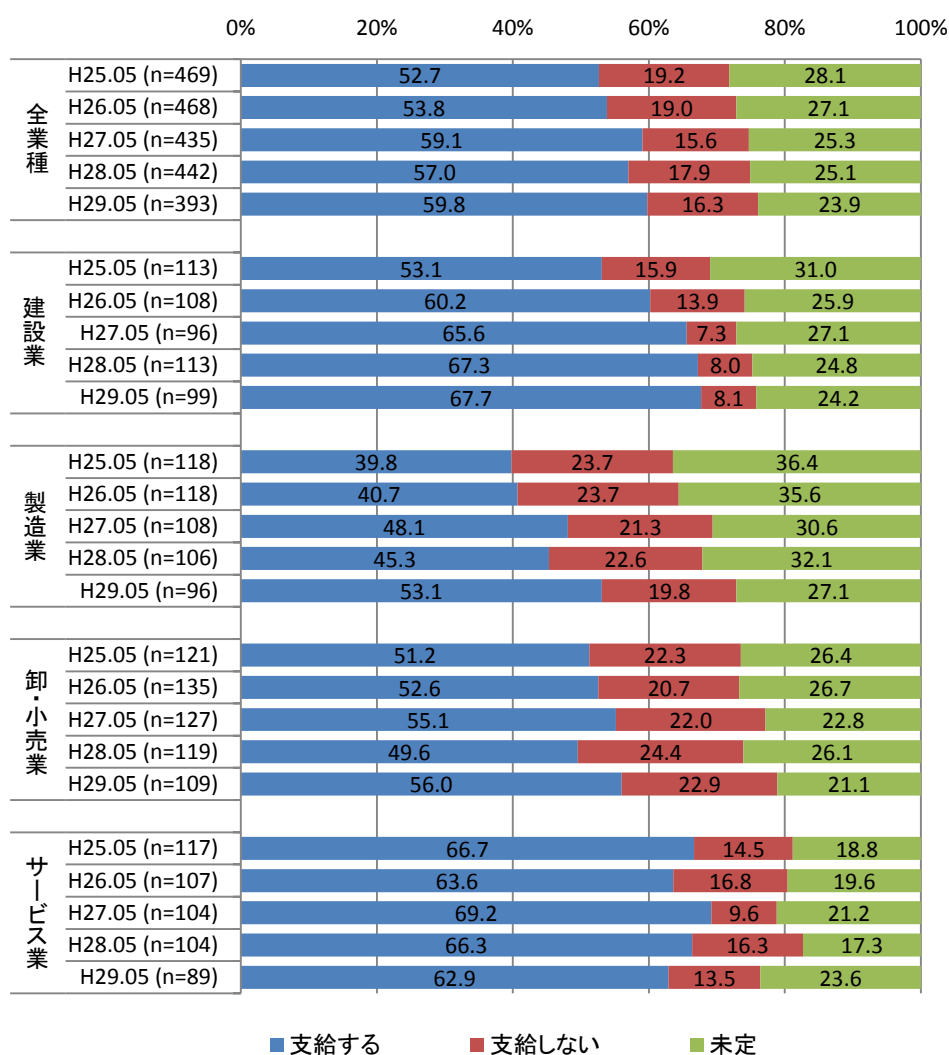
#### 1. 夏季ボーナスの支給動向について

##### (1) 支給予定動向

夏季ボーナスの支給動向(予定)について尋ねたところ、回答企業(393社)の59.8%が「支給する」と回答しており、この割合は、前回調査(57.0%)から2.8ポイント上昇した。一方、「支給しない」と回答した企業の割合は16.3%で、前回調査(17.9%)から1.6ポイント低下した。

業種別にみると、「支給する」と回答した企業の割合は建設業が67.7%で引き続き最も高く、次いでサービス業(62.9%)、卸・小売業(56.0%)、製造業(53.1%)の順となった。また、この割合を前回調査を比較すると、建設業、製造業、卸・小売業の3業種で上昇した一方、サービス業では低下となった。

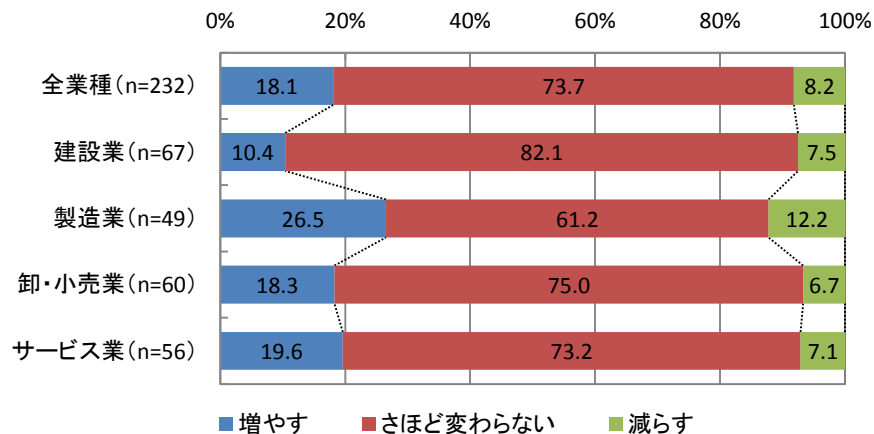
図表 16 業種別「夏季ボーナスの支給動向」



また、今季「支給する」と回答した企業に対し、昨年夏季と比べて支給額を増やすかどうか尋ねたところ、全業種では「さほど変わらない」と回答した企業が73.7%と最も多く、「増やす」とした企業は18.1%と2割弱にとどまった。

業種別にみると、「増やす」と回答した企業の割合は製造業が26.5%と最も高く、最も低いのは建設業の10.4%であった。一方、「減らす」と回答した企業の割合は、製造業で12.2%と、他の3業種に比べて幾分高くなっている。

図表 17 業種別 夏季ボーナスを“支給する”企業の方針(昨年夏季比)

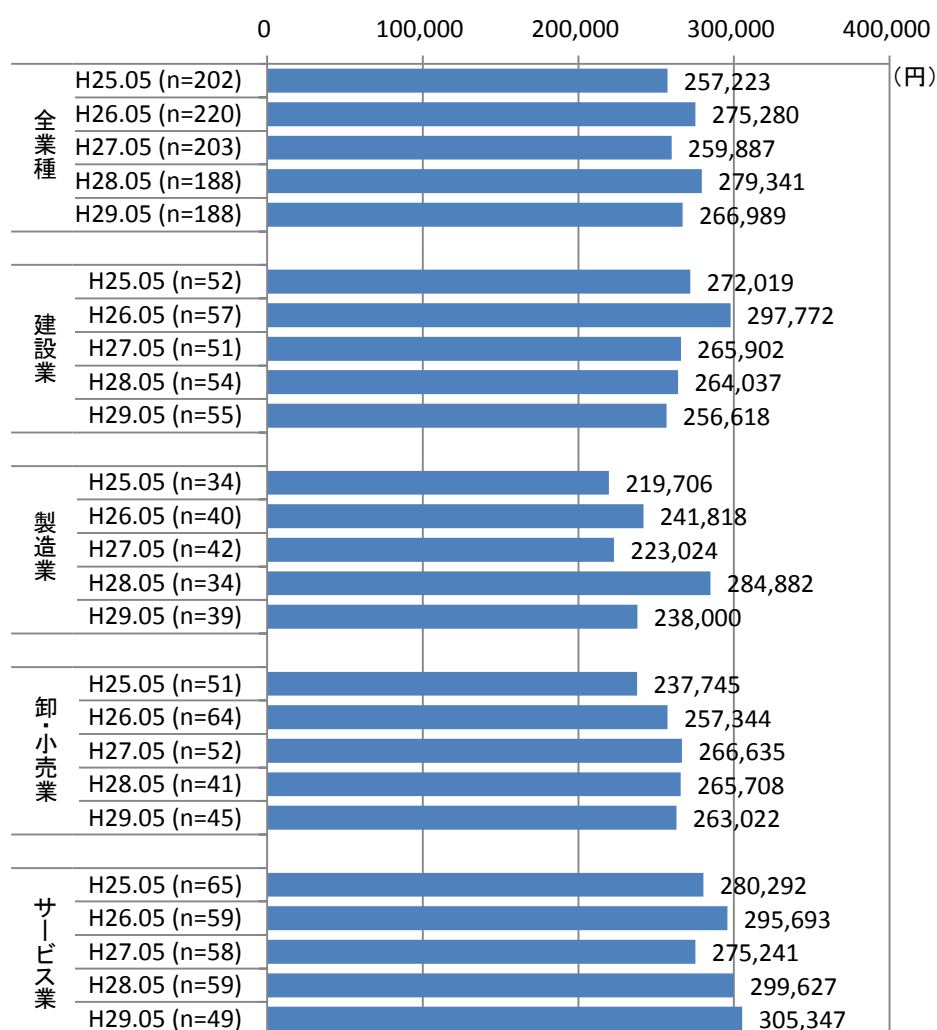


## (2) 支給予定額について

夏季ボーナスの支給予定額について尋ねたところ、全業種平均(188社)で26.7万円となり、前回調査に比べて1.2万円(4.4%)減少の見込みとなった。

業種別の平均支給予定額をみると、サービス業(30.5万円、前回調査比0.6万円増加)では昨年に比べて増加の見込みとなった。一方、建設業(25.7万円、同0.7万円減少)と製造業(23.8万円、同4.7万円減少)で減少、卸・小売業(26.3万円、同0.3万円減少)では減少したものの、ほぼ横ばい圏内で推移する見込みとなった。

図表 18 業種別「夏季ボーナスの平均支給額」の推移

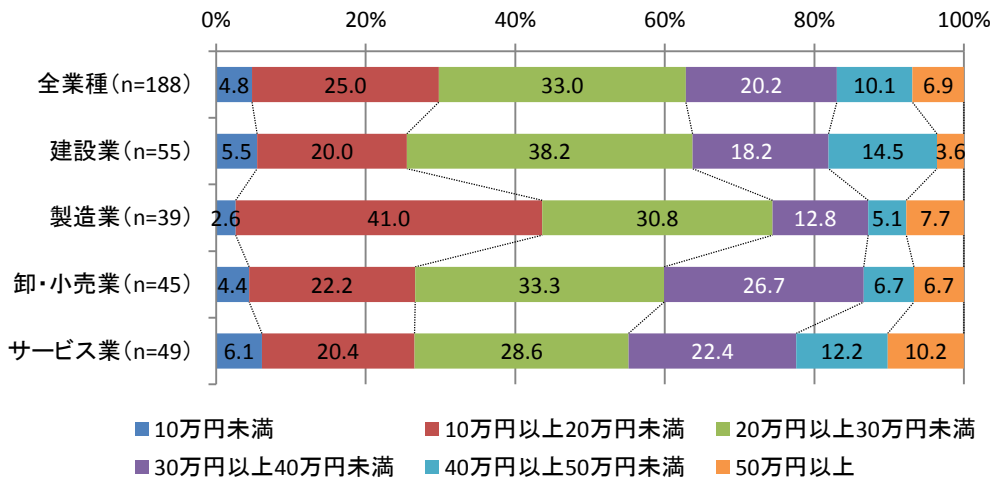




また、平均支給予定額の分布をみると、全業種では「20万円以上 30万円未満」の割合が33.0%と最も高く、次いで「10万円以上 20万円未満」(25.0%)、「30万円以上 40万円未満」(20.2%)が続いている。

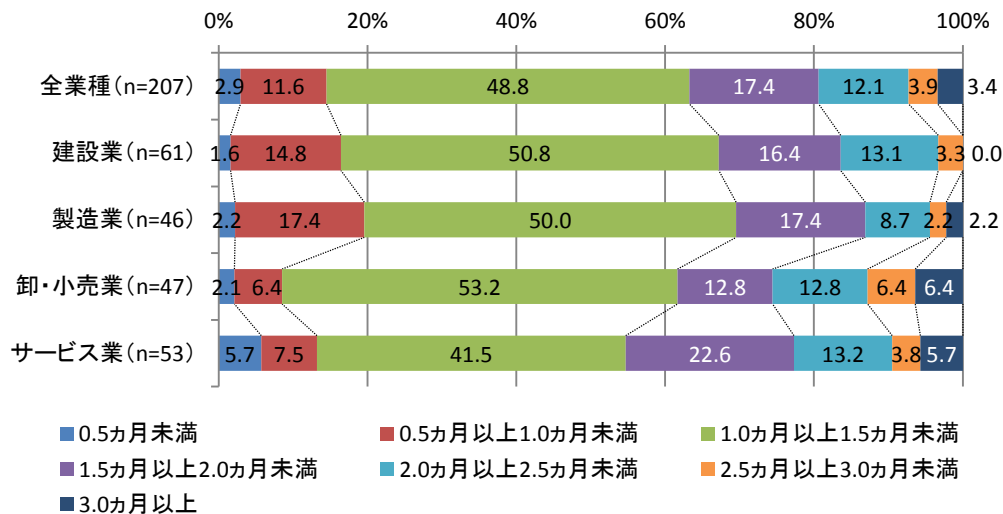
業種別にみると、製造業では「10万円以上 20万円未満」の割合が41.0%と最も高く、他の3業種では、全業種と同様に「20万円以上 30万円未満」の割合が最も高くなっている。

図表 19 業種別「夏季ボーナスの平均支給予定額」



平均支給予定月数については、全業種では「1.0ヵ月以上 1.5ヵ月未満」が48.8%と最も高く、卸・小売業の53.2%を始めとして、いずれの業種でも「1.0ヵ月以上 1.5ヵ月未満」が最も高い割合を示している。

図表 20 業種別「夏季ボーナスの平均支給予定月数」

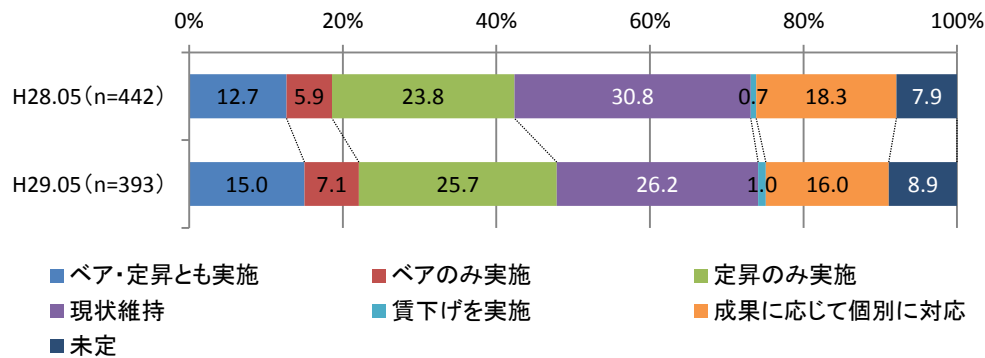


## 2. 春季以降の賃金改定動向について

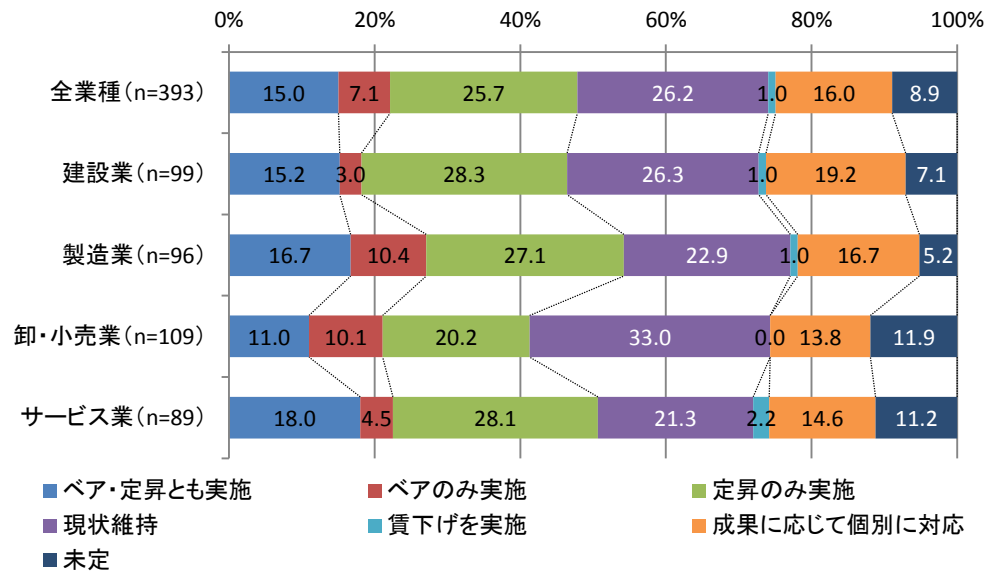
春季以降の賃金改定動向(ベースアップや定期昇給を実施する(した)か)について尋ねたところ、全業種では「ベア・定期昇給とも実施」する(した)企業は 15.0%で、これに「ベアのみ実施」(7.1%)と「定期昇給のみ実施」(25.7%)を加えた、「賃上げを実施する(した)」と回答した企業は 47.8%となり、前回調査(42.4%)から 5.4 ポイント上昇した。

業種別にみると、「賃上げを実施する(した)」と回答した企業は製造業の 54.2%が最も高く、以下はサービス業(50.6%)、建設業(46.5%)、卸・小売業(41.3%)の順となっている。

図表 21 全業種「春季以降の賃金改定動向」の推移



図表 22 業種別「春季以降の賃金改定動向」



<参考資料Ⅰ：業種別・地域別回答率>

(サンプル数：社)

	建設	製造	卸・小売	サービス	合計
県北	27	26	27	26	106
中央	81	68	96	95	340
県南	41	63	49	34	187
合計	149	157	172	155	633

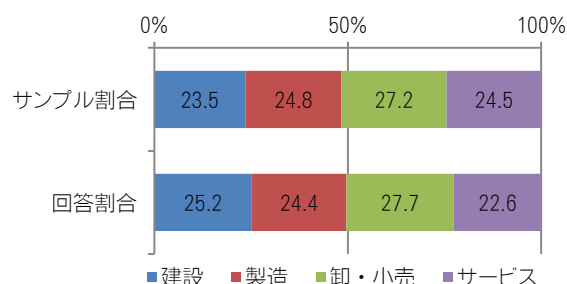
(回答数：社)

	建設	製造	卸・小売	サービス	合計
県北	19	18	17	13	67
中央	50	40	62	60	212
県南	30	38	30	16	114
合計	99	96	109	89	393

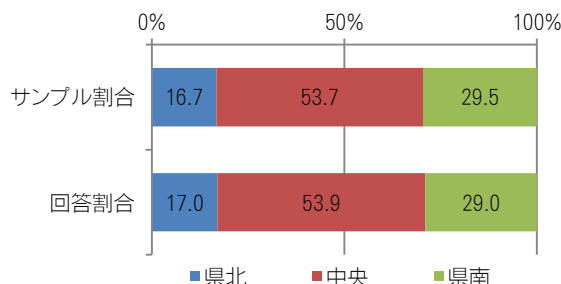
(回答率：%)

	建設	製造	卸・小売	サービス	合計
県北	70.4	69.2	63.0	50.0	63.2
中央	61.7	58.8	64.6	63.2	62.4
県南	73.2	60.3	61.2	47.1	61.0
合計	66.4	61.1	63.4	57.4	62.1

(業種別：%)



(地域別：%)



<参考資料Ⅱ：調査の概要>

● 調査の目的

県内に本社を置いて企業活動を営む法人企業を対象に、各社の業況の現状と今後の見通しに関する判断を調査し、県内の景気動向について把握するために実施した。

● 調査の方法

インターネットを利用したアンケート調査(一部FAXを利用)。

● 調査期間

平成29年5月8日(月)～16日(火)

● 地域区分

地域名	対象となる市町村名
県北	大館市、能代市、北秋田市、鹿角市、三種町、八峰町、小坂町、藤里町、上小阿仁村
中央	秋田市、由利本荘市、潟上市、男鹿市、にかほ市、五城目町、八郎潟町、井川町、大潟村
県南	横手市、大仙市、湯沢市、仙北市、美郷町、羽後町、東成瀬村

## ● 調査の内容

アンケート調査は、各企業の業況判断について3肢択一方式を採っている。毎回必ず調査する「定例調査」と、調査時期にふさわしい経済トピックス等について調査する「特別調査」とを設けている。

項目	選択肢（択一方式）		
自社の業況(共通項目)	1. 良い	2. さほど変わらない	3. 悪い
業界の業況(共通項目)	1. 良い	2. さほど変わらない	3. 悪い
売上高(建設業を除く)	1. 増えた	2. さほど変わらない	3. 減った
完成工事高(建設業)	1. 増えた	2. さほど変わらない	3. 減った
営業利益(共通項目)	1. 増えた	2. さほど変わらない	3. 減った
人員や人手(共通項目)	1. 足りない	2. ちょうどよい	3. 余っている
資金繰り(共通項目)	1. 楽になった	2. さほど変わらない	3. 厳しい
原材料等の仕入価格(製造業のみ)	1. 下がった	2. さほど変わらない	3. 上がった
製(商)品の仕入価格(卸・小売業のみ)	1. 下がった	2. さほど変わらない	3. 上がった
在庫状況(製造業)	1. 増えた	2. さほど変わらない	3. 減った
手持工事高(建設業)	1. 増えた	2. さほど変わらない	3. 減った

(注)各項目とも「前年同期比」、「前期比」、「来期の見通し」について、それぞれ3肢択一方式を採っている。

## ● 集計方法

各項目とも、現状判断、先行き見通しについてそれぞれD I値を算出する。D I値とは、Diffusion Index(ディフュージョン・インデックス)の略で、算出方法は次の通り。

例)自社の業況D I値

$$= (\text{「1. 良い」と回答した企業の割合}) - (\text{「3. 悪い」と回答した企業の割合})$$

たとえば「自社の業況D I値」がプラスであれば、相対的に自社の業況が良いと判断した企業が多いことになる。また、業況の変化の方向(良くなっているか、悪くなっているか)についても分かる。

ちなみに、他のD I値についても同様に、選択肢「1. 」(「調査の内容」の「選択肢」欄をご参照のこと)を選んだ企業の割合から選択肢「3. 」を選んだ企業の割合を差し引いて算出する。

## <お知らせ>

F S N会員専用ホームページ(<http://www.bb-town.jp/cgi-bin/fsn.cgi>)にアクセスすると、統計データの最新版をダウンロードすることができます。こちらも是非ご利用ください。なお、過去の調査レポートや統計データは当社ホームページ(<http://www.f-ric.co.jp/>)「調査レポート」コーナーからダウンロードすることができます。

## <お問い合わせ先>

株式会社フィデア総合研究所 地域コンサルティンググループ 後藤(秋田本部)／佐藤(秋田本部)

### ・秋田本部

〒010-0001 秋田県秋田市中通 3-1-41 北都銀行本店 6F

TEL : 018-837-1727 Fax : 023-834-5508

### ・山形本社

〒990-0043 山形県山形市本町 1-4-21 荘銀山形ビル 8F

TEL : 023-626-9017 Fax : 023-626-9038 E-mail : kenkyuu@f-ric.co.jp

URL : <http://www.f-ric.co.jp>